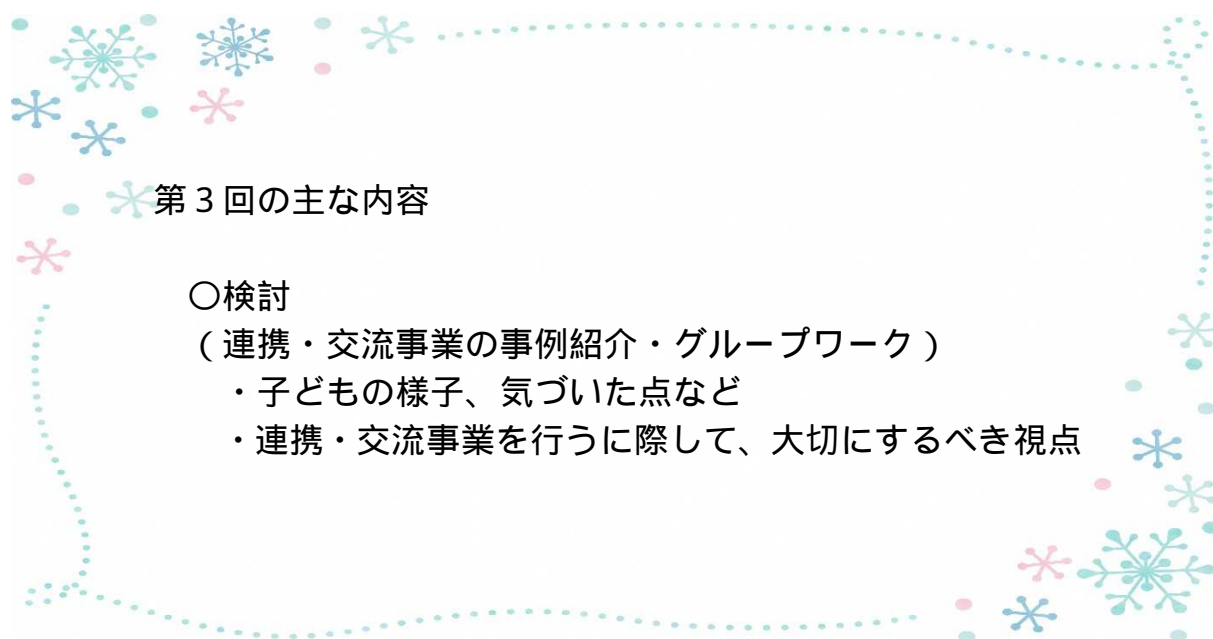




乳幼児教育・保育推進事業 通信
～令和6年度 保幼小連携専門部会～



令和6年12月10日（金）に、令和6年度第3回宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 保幼小連携専門部会を開催いたしました。
部会の様子をお知らせします。



＊第3回の主な内容

○検討

（連携・交流事業の事例紹介・グループワーク）

- ・子どもの様子、気づいた点など
- ・連携・交流事業を行うに際して、大切にすべき視点

専門部会とは



「保幼小連携」「研究・研修」「発達・子育ての支援」の推進にあたり、現状の把握、課題抽出、対応策の検討、研究・研修の企画実施について、乳幼児教育・保育の実務をよく知る職員の意見を反映できる仕組みとするために設置したもの。





(1)連携・交流事例紹介 → 子どもの様子、気づいた点などをグループワーク

<事例概要>

ア．小倉双葉園保育所 - 小倉小学校

秋の自然物を用いた遊びを通した交流 生活科「あきとなかよし」

小学校：秋の自然物で作成したおもちゃコーナーに園児を招き、
年下の子にやさしくコーナーを説明し、案内する

就学前：小学校の雰囲気を知り、小学生と交流をする

○主な意見

・園児の様子

小学校は座学での授業というイメージを持っている子もいたが、交流を通して、動きのある学習を知り、抵抗感が和らぎ、楽しみに繋がった子もいた
全体的に小学校への憧れや期待感が上がり、教えてもらった遊びにより、園での遊びの幅が広がっていた

- ・子ども同士が実質的に交流できた時間は少し短かったのではないかと
- ・就学前の先生は「小学生の授業に迷惑をかけないように」と遠慮されている様子を感じたので、気軽に話し合える関係は大切
- ・事前打ち合わせ、交流、振り返りを一連の取組と位置付け、保幼小連携を双方の子どもにどう活かすのかの視点が大切

イ．東宇治幼稚園 - 南部小学校

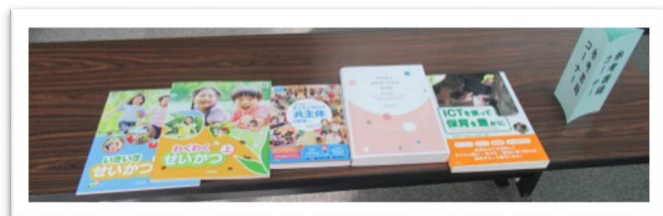
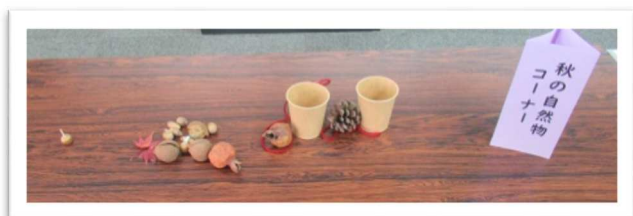
うさぎの飼育を通した Zoom 交流 生活科「生きもの大すき」

小学校：幼稚園から借りたうさぎを世話し、調べたことを園児に発表し、
園児が楽しめるクイズを考える

就学前：園で飼育している生きものに改めて興味・関心を持ち、小学校での学習内容を知る

○主な意見

- ・Zoom を活用したことで移動時間が不要となり、気軽に取り組むことが出来たが、音が聞き取りにくいなどの改善点に気付いた
- ・園児にとっては小学生に対する憧れが芽生え、いい刺激になった
- ・小学校は生活科や国語科の授業のテーマに沿い、幼稚園は普段育てているうさぎを通して交流は良いテーマだったと感じた
- ・就学前側は小学校の授業の妨げにならないことを意識されているが、小学校側は授業内容を工夫することで子ども同士の交流は可能
- ・交流内容をより良いものとするためには、先生同士が気軽に話し合える関係を作っていくことが大事だと感じ、自園でも参考にしていきたいと感じた



(2)連携・交流事業を行うに際して、大切にすべき視点

<就学前の子どもに対しての視点>

- ・事前に小学校に5歳児が出来ることを伝え、より良い「育ちと学び」に繋がる交流となるよう、事前の打ち合わせは大切
- ・普段の生活の中で、「人の話を聞く」、「自分の思いを伝える」ことを大切にすることが小学校での学びへ繋がっていく
- ・就学前施設同士の横の繋がりも考えていけると良い

<小学校の子どもに対しての視点>

- ・幼児教育で培った経験・体験を学びに生かしていくことが大切
- ・子どもたちには「就学前施設で育んできた資質」があり、小学校という慣れない環境でまだ発揮できていない状況を小学校の先生に認識していただき、「育ちと学びをつなげていく」という視点を大切にしてほしい
- ・「小学校での学び」を「校内にはいない年下の子」に発表する機会があることによって、小学校の子どもたちの自己肯定感を育むことができる

(3)現在の保幼小連携の現状把握と次年度に向けた提案

<現状>

保幼小での研修や架け橋ブロックの設定、各連携担当者の協力などにより、子どもや先生同士の交流の強化、新たな交流事業への着手、各ブロック内の先生同士の「顔の見える関係構築」など、保幼小の連携は着実に前進していると感じている。

<提案>

就学前施設から小学校へ交流事業を持ちかける際、「相手方の繁忙期ではないか」などの心理的なハードルを感じることもあるため、来年度開設予定のセンターが中心となって、年に1回程度、可能であれば年度当初の早い時期に、ブロックを構成する各施設が集まれる機会をコーディネートしていただければ、よりスムーズな保幼小連携が図れていくのではないかと。

令和6年12月20日開催

令和6年度第3回宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

資料P5～6「保幼小連携専門部会報告書」より引用



(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センターの取組について

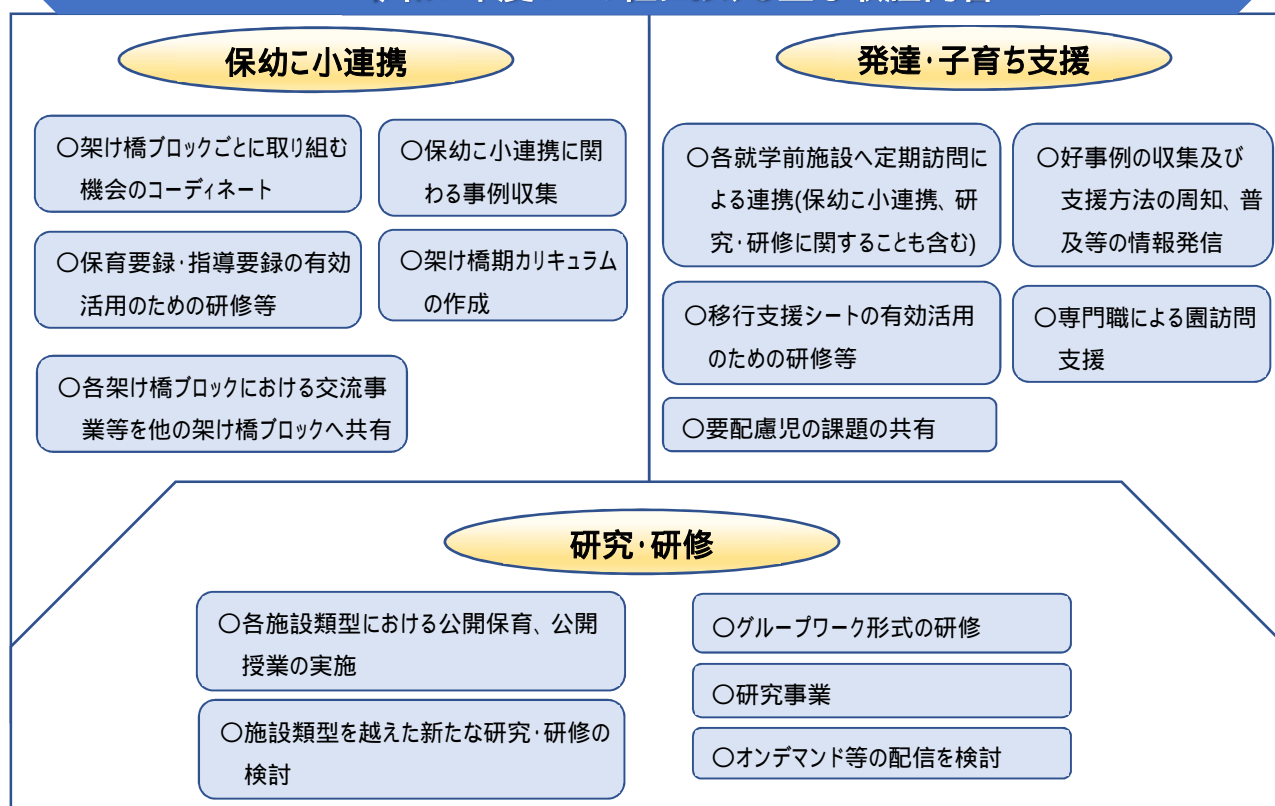
施設類型を越えて全市的に連携・協働し、各施設での取組を共有することにより、これまで以上に、保幼小連携の取組推進や人材育成を図り、もって教育・保育の質の向上に資することを目的として、以下のとおり基本理念を定め、令和7年4月に(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センターを設置します。

基本理念

育もう 未来のつぼみ 咲かせよう それぞれの花
「ともに生きて とともに育ち とともにつながる」

○取組について

令和7年度3つの柱における主な取組内容



○体制イメージ

乳幼児教育・保育の推進

